

平成九年 全国大会式次第

平成九年五月十五日(木)

於：神戸ポートピアホテル「聚景園」

司会進行役 柳田辰巳 本部幹事

一、開会の辞 横田 幹事長

一、会長挨拶 鈴木 会長

一、会務報告 松下 幹事

宴

一、乾杯

一、スピーチ

一、閉会の辞 藤田 幹事

以上

平成九年 全国大会出席者名簿 (順不同・敬称略)

平成九年五月十五日(木)

於：神戸ポートピアホテル「聚景園」

安東 浄	高木 きぬ	森 好子
井上 好正	高木 邦子	柳田 政江
今村 三郎	石川 幹恵	柳田 辰巳
大谷 一二	高畑 薫幸	柳田 光子
大谷 淳子	高畑 喜代子	横田 周作
小野 晶子	田代 ヨシ子	吉田 春江
小原 多喜子	立花 実	山室 雅子
金子 孝蔵	西川 明子	鷲尾 千鶴子
釜崎 とし子	野間 玉枝	金野 和夫
北尾 素子	岩崎 由佐子	川崎 雅子
木村 毅	坂東 みどり	計 三十六名
楠瀬 正明	藤田 健作	
鈴木 治雄	松下 重男	

弔辞 故植田三男氏

太陽鋳工株式会社社長 辰巳会会長 鈴木 治雄

謹んで植田三男さんのご霊前に哀悼の辞を捧げます。

植田さん、体調がすぐれないことはお聞きしておりましたが、お元気になることを信じていましたのに、今ここであなたにお別れの言葉を述べなければならぬことは、あまりに思いがけないことで、この悲しみを、どう表わしていいのか私にはわかりません。

思えば、私が日商の上海支店に入社した時は、あなたは応召されていましたが、終戦後、間もなく大阪本社でお会いしたのが最初でした。

あなたが昭和三十七年、日商の取締役に就任され、私が昭和四十七年に監査役を退任するまで、お互いに役員としてお付き合いがありました。

その後、あなたとの親交が深まりましたのは、私が太陽鋳工の仕事に専念し、あなたが昭和五十年に日商岩井米国会社の社長として、ニューヨークに赴任されていた頃からです。当社の主原料となるモリブデン鋳石の仕事で同地へ主張する機会の多かった私のために、色々お力添え下さいました。



休息のひとつときを、ニューヨーク郊外のゴルフ場で共にゴルフを楽しみ、夜は日本料理の吉兆で食事をとり、楽しく歓談しましたことが、昨日の様に思い出されます。

また、あなたが日商岩井の社長の頃、当時の池田副社長と三人で、武蔵カントリーでゴルフをしました折のあなたの飄々としたプレーの中に、本当にゴルフを楽しんでおられた姿が目につかびます。私が会長を勤めております辰巳会という会があります。この会は神戸の鈴木商店が昭和の初めに終結した時、在籍されていましたOBの方々の希望で、元日商岩井故高畑誠一さんが中心となり、昭和三十五年に発足しました。

あなたは、多忙な現役を引かれてから、辰巳会の東京支部長として、会の運営を守りたて、その活発な活動は神戸本部も大いに見習うところでした。

辰巳会の会員は、発足当時の方々の多くが他界されていき、年々減る中で、今は約五十名の方がご健在ですが、年令は最も若い方で八十年代後半に達しています。会の運営は二世、三世に受け継がれています。この会の将来について、この秋にも相談したいと思っていたところ、あなたは急いで逝ってしまいました。

本当に残念です。良き相談相手を失い、途方に暮れる思いです。植田さん。ほんとうにありがとうございました。どうか安らかに眠り下さい。

心よりご冥福をお祈りします。